

人間ドック補助（よくある質問）

2025.4.1 版

◎ このQ&Aは、必要に応じて随時追加します。都薬国保ホームページでご確認ください。

項番	よくある質問	回 答
1	人間ドック補助の概要	<p>この補助は、①特定健診、及び②がん検診の2つの事業に対する国庫補助金に着目しながら、当組合の被保険者の健康管理の向上と医療費負担増加の抑制を図り、同時に特定健診とがん検診の受診率向上を目指して実施するものです。</p> <p>対象者は、4月1日現在、当組合の被保険者（組合員・家族）であって、その年度の年齢が40歳以上の年齢である方を5歳刻み（40、45、50、55、60、65、70歳）にした「節目健診」です。</p> <ul style="list-style-type: none"> * どの人間ドック（健診機関）を受けるかは、ご自分で決めていただきます。 * 特定健診の必須項目を満たしている場合は2万円を上限に、満たしていない場合は1万円を上限に補助します。 * がん検診には、がんの種類と検査方法に制限があります * 補助申請には、人間ドック（健診機関）で支払った料金の内訳明細と健診結果が必要です。 * このような形で事業を開始し、実施状況等を確認しながら対象者の拡大等を引き続き検討することとしています。
2	令和7年度の対象者を知りたい	<p>次の方々（組合員・家族）が令和7年度の対象者で、個別に通知します。</p> <p>40歳 昭和60年4月1日から昭和61年3月31日までの間に生まれた方 45歳 昭和55年4月1日から昭和56年3月31日までの間に生まれた方 50歳 昭和50年4月1日から昭和51年3月31日までの間に生まれた方 55歳 昭和45年4月1日から昭和46年3月31日までの間に生まれた方 60歳 昭和40年4月1日から昭和41年3月31日までの間に生まれた方 65歳 昭和35年4月1日から昭和36年3月31日までの間に生まれた方 70歳 昭和30年4月1日から昭和31年3月31日までの間に生まれた方</p> <p>* 令和7年度内にこの年齢になる方は、令和7年度内いつでも受診できます。</p>
3	なぜ、満40、45、50、55、60、65、70歳だけが対象なのか	<p>病気の早期発見・治療のために健診内容の充実を図り対象範囲を拡大したいと考えておりますが、組合の財政負担を考慮して決定しました。今後の状況等をみながら対象者の拡大等を検討します。</p>
4	対象年齢であれば、受診の時期はいつでも良いのか	<p>人間ドック（健診機関）受診日現在、当組合の被保険者で、その年度に対象年齢になる方であれば受診できます。（対象年齢の方には個別にご案内します） その年度の4月1日から翌年3月31日までの間で、ご自身の都合が良いときに受診してください。</p>
5	人間ドックの受診可能期間は4月1日から翌年3月末日までのものだけを対象とするのか	<p>そのとおり。 その年度に対象年齢になる方について、毎年度、4月1日から翌年3月末日までのものだけを対象とします。</p>
6	受診する人間ドックはどのように選ぶのか	<p>ご自身の希望する人間ドックを実施している健診機関を任意に選んでください。当組合として推奨する人間ドック（健診機関）の紹介等は行っていません。</p> <p>* 都内の場合、数多くの人間ドック（健診機関）があります。</p> <p><u>なお、選択（予約）する前に、①「特定健診の必須項目」を実施しているか否か、②料金の明細書を発行しているか、をご確認いただくのが良いと思います。</u></p>
7	特定健診の「必須項目」とは何か	<p>保険者（組合）が実施すべき特定健診について、必ず実施しなければならない検査項目として国（厚生労働省）が示している項目は、以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 既往症（服薬歴、喫煙習慣を含む。） ② 自覚症状（理学的所見） ③ 身長・体重・腹囲・BMI ④ 血圧 ⑤ 肝機能：AST（GOT）、ALT（GPT）、γ-GT（γ-GTP） ⑥ 脂質：空腹時中性脂肪（やむを得ない場合は随時中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロールまたはNon-HDLコレステロール ⑦ 血糖：空腹時血糖（やむを得ない場合は随時血糖）またはHbA1c ⑧ 尿糖・尿たんぱく
8	がん検診の「がんの種類と検査方法」とは何か	<p>国が補助対象としているいわゆる5大がん（胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がん）ですが、がんの種類ごとに検査方法が指定されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 胃がん1 胃内視鏡検査 ② 胃がん2 胃部エックス線検査 ③ 子宮頸がん 視診、子宮頸部の細胞診及び内診 ④ 肺がん1 胸部エックス線検査 ⑤ 肺がん2 胸部エックス線検査及び喀痰細胞診 ⑥ 乳がん 「乳房エックス線検査」もしくは「視触診及び乳房エックス線検査」 ⑦ 大腸がん 便潜血検査

項番	よくある質問	回 答
9	この他のがん検診は受けることができないのか	受けていただいて構いませんが、当組合の人間ドック補助の対象外であり、全額自己負担になります。
10	複数のがん検診を受診してもよいのか	ご案内で指定した検査の種類・検査方法を満たすものであれば複数受診しても補助の対象になります。 ただし、補助金の額には上限があります。
11	人間ドック補助金の申請はいつ提出すればよいのか	人間ドック（健診機関）を受診し、その結果通知を入手後になります。 人間ドック（健診機関）で支払った料金の内訳明細と健診結果（写）を添付していただきます。 ※ 受診日において当組合の被保険者でない方には補助金をお支払できません。 受診日以降に当組合から脱退した場合は、補助金をお支払します。
12	複数の人間ドック（健診機関）を利用した場合の補助金申請は、どのようにすればよいのか	複数の人間ドック（健診機関）で検査を受けた場合は、ご面倒でも補助金申請を一つにまとめて申請してください。 例えば、A人間ドックで胃がん検診を受けて料金1万3千円を支払い、B人間ドックで乳がん検診を受けて料金を1万2千円支払った場合、合計2万5千円分の補助申請をしてください。なお、AとB両方の領収書・明細書、人間ドックの健診結果をご提出ください。
13	補助の対象にならないケースはどのようなものか	1 がん検診の補助対象とならないケース ・ 当組合が実施している簡易がん検診（郵送）と 同じ種類のがん検診 を受けた場合 ・ お住いの自治体が実施しているがん検診を受けた場合 ・ 項番8に記載したがん検診の種類と検査方法以外のがん検診を受けた場合 ・ 治療の目的 で人間ドックの検査を受けた場合 2 次の方は「がん検診」分のみを補助対象とします ・ 当組合または自治体が実施している特定健診を受けた方 ・ 事業者健診を受け、その健診結果データを当組合に提供された方 ・ 特定健診について、他の制度の補助を受けられた方。
14	なぜ、特定健診受診者や事業者健診結果データ提供者等を補助の対象外とするのか	特定健診、がん検診はそれぞれ当組合が全額費用負担している、あるいは謝礼金支払いの対象となっており、同一の特定健診、がん検診について、さらに組合が二重で補助することは好ましくないと考えるためです。
15	補助金の申請を忘れたので、次年度に申請してもよいのか	補助金の申請は、人間ドックを利用した年度のものに限り、過年度分の申請はできません。
16	なぜ、補助金の上限を設けているのか	他の国保組合の事例等を参考にしながら、組合の財政負担を考慮して額を決定したもので、今後の状況等をみながら検討します。
17	人間ドックの受診料金（自己負担額）が補助金の上限を下回る場合は、どうなるのか	自己負担額までを補助します。
18	人間ドックで支払った金額の明細はなぜ必要なのか	特定健診の必須項目が満たされていることとその金額、がん検診の種類とその金額を確認するためにはどうしても必要です。 * 例えばクレジットカードで料金の支払いをした場合であっても、料金の明細書（健診・検査内容とその内訳金額が記載されているもの）を必ず受け取ってください。 * 総額しか分からない領収書では、補助金をお支払いできません。
19	なぜ、領収書の原本提出なのか。（コピーでは駄目なのか。）	補助金額を決定するためには原本で確認する必要があります。 <u>なお、返却はいたしませんので必要な方は事前にコピーをお取りください。</u>
20	本人を含め、家族も対象となっている場合（資格確認書等の記号・番号が異なる場合も含む）、まとめて申請してもよいのか	お手数ですが、お一人ずつ申請書の提出をお願いいたします。 ただし、お振込先は当組合の事務処理及び振込手数料負担を軽減するため、ご家族を代表される方の口座へお振込みしますので、金融機関口座は統一してください。ご理解とご協力をお願いいたします。
21	補助金は、いつ頃振り込まれるのか	毎年8月頃（前年度の特定健診受診者リスト等のチェック後にお支払いします）